

おおもり

平成 30 年 1 2 月 7 日

東根市立大森小学校
学校だより 78 号

「心を見がく」

～ 5 学年学年行事：「トイレそうじ」から学ぶこと ～

先月号の学校だよりでも紹介されましたが、11月4日（日）に5年生の学年行事が行われ、子どもたちと保護者の皆さんが、日本を美しくする会「山形清掃に学ぶ会」のメンバーにご協力いただきながら、学校内のトイレ清掃に取り組みました。

先日の全校集会でもこの話題を取り上げ、「心を見がく」という内容で、その活動紹介と講話をしたところです。

「トイレ」・・・だれもが生活の汚い所。そんなイメージを持ってしまいがちな場所・・・では、なぜ5年生は「トイレ掃除」に挑戦したのでしょうか。掃除を学ぶ会の資料の内容から5年生の挑戦のねらいが理解できました。



① 嫌なことから逃げない自分になる。

② 感謝の「心」を持てる人になる。

③ 感動の「心」を育むことのできる人になる。そして、この活動のすべては「自分をみがくことにつながる」というものでした。人は、「心」を取り出してみがくことはできません。だから、今回のように、特に人の嫌がるトイレをきれいにするには「心も美しくなる」ということなのだと思います。

活動を終えた5年生の感想は、「正直嫌だと思っていたけれど、やってみるとけっこう楽しかった。」
「最初は簡単だと思っていたけれど、意外とむずかしかった。大森小の新しいトイレでも、8年でこんなに汚れているとすれば、他の場所のトイレはもっと大変なんだろうなと思った。」
「初めての体験だったし、今日やってみてとっても楽しかった。家でもトイレ掃除をやってみようと思った。」など、それら感想のすべては、実際に活動に取り組んだ人にしか言えない本物の感想ばかりでした。



「人のために何かすることの喜びを味わった5年生」

「嫌なことから逃げないことを学んだ5年生」「周りに感謝の気持ちを持つことを学んだ5年生」、「学校中のトイレを本当にきれいしてくれた5年生」、そして、保護者の皆様にも心から感謝します。ありがとうございました。

さて、2学期もあと2週間余り・・・、子どもたちの「こころの育ち」のスピードは違っても、私たちは子ども一人ひとりの「無限の可能性」を信じて、これからも、保護者の皆様や地域の方々と協力しながら、「心を見がく」につながる活動に取り組んでいきたいと思えます。ぜひ、保護者の皆様には、前向きに活動する子どもたちの姿を温かな目で見守り、「よくやったね」「頑張ったね」など、『勇気づけ』となるお声がけをいただけますよう、よろしく願いいたします。

(校長 土屋 常 義)